



# なばり

2019年(令和元年) 6月10日号

主な内容

- 3……国保険特定健診・後期高齢者健診
- 5……市美術展覧会作品募集
- 6……いきいきフェスタ
- 7……施設ご利用ガイド
- 8……7月の相談、男女共同参画週間

発行/名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 FAX 0595-64-2560 ✉pr@city.nabari.mie.jp



## 防災

各地域でより一層、防災意識を高めたい

# 災害から守る

自分の命は自分で守る。これは基本ですが、災害時には、隣近所や地域で助け合うことが不可欠です。各地域では防災訓練を実施していますが、地形や人口規模によって被害

想定も違うため、防災に関する取り組みには、違いがあります。「私たちの地域は、こんな取り組みをしている」という発表の場を設けて意見交換をしながら、より一層、各地



防災部会 部会長  
小引 福夫 さん

域が防災意識を高めることができると思います。災害時の避難所運営などさまざまな場面で、女性や子どもも視点を取り入れることがとても重要になります。防災の講演会を開催しても、参加者の多くは男性です。多くの女性が参加しやすく、いざというとき力を発揮できる訓練や研修をもっと考えていく必要があります。

## 生活安全推進協議会の活動

# 安全を守る

市は、市民の生活安全の推進に関する条例に基づき、安心・安全のまちづくりを進めるため、市生活安全推進協議会を設置しています。

各地域などから選出された約190人の委員が、「防災」「防犯」「交通安全」の3部会に分かれて、地域づくり組織の活動と連携を図りながら、安全で住み良い地域社会を目指して活動しています。

☎ 危機管理室 63-7271  
☎ 都市計画室 63-7749



## 防犯

身近に起こる犯罪をなくしたい

# 犯罪から守る

防犯部会では、花火大会などの祭りのときや年末年始の特別警戒、各地域での防犯相談員としての活動、防犯についての啓発活動や研修会を実施しています。

私は、防犯で重要なのは、「自分たちの地域は自分たちで守る意識」だと思います。空き巣やひったくり、子どもの安全を脅かす犯罪、また高齢者を狙った特殊詐欺などは、い

つ身近で被害が起こるか分かりません。日常生活の中で、近所同士の挨拶や声掛けなど活発に行うことが犯罪を寄せ付けないことにつながります。また、散歩しながらや庭の手入れをしながらで、ご近所でおかしいなと気付いたことがあれば、警察などに相談してください。警察や行政とも連携しながら、今後も啓発活動に取り組んでいきます。



防犯部会 部会長  
奥田 信雄 さん

## 交通安全

少しでも交通事故を減らしたい

# 事故から守る



交通安全部会 部会長  
杉中 清哉 さん

私は、交通安全部会での活動を20年やっています。普段は、通学路の横断歩道に立って、児童の安全確保と街頭指導を行っています。また、交通安全運動や飲酒運転根絶の啓発活動、中学生を対象にした自転車の交通安全研修なども積極的にを行っています。

最近、全国で痛ましい交通事故が多発しています。街頭指導をしていると、スピードを出し過ぎていたり車や交差点でヒヤッとする場面に出会うこともあります。朝の通勤時間帯は、急ぐことも多いでしょうが、少しでも心と時間に余裕を持って運転してほしいです。

私が運転者や歩行者に呼びかけているのは、「まみむめも」の言葉です。▼ま：待つ ▼み：見る ▼む：無理しない ▼め：目立つ服装 ▼も：もしかして 特に、車や歩行者が互いに無理な運転、横断をやめ、「もしかして」車や子どもが飛び出してくるかもしれないという気持ちを持って運転するだけで事故は減少すると思います。

市内では他に、各地域づくり組織をはじめ、名張市青少年育成推進員や名張市青少年育成市民会議を中心とした名張少年サポートふれあい隊、名張警察署管轄の名張地区交通安全協会や名張地区防犯協会などの皆さんにより、啓発活動を実施していただいています。